



**内閣府 日本医師会 医薬基盤・健康・栄養研究所  
共同記者会見**

**内閣府SIP  
「AIホスピタルによる高度診断・治療システム」の  
社会実装プロジェクト開始について**

**2020年6月10日**



-AI(人工知能)ホスピタルによる  
高度診断・治療システム-

---

内閣府 プログラムディレクター  
中村 祐輔

# 課題全体の概要・目標

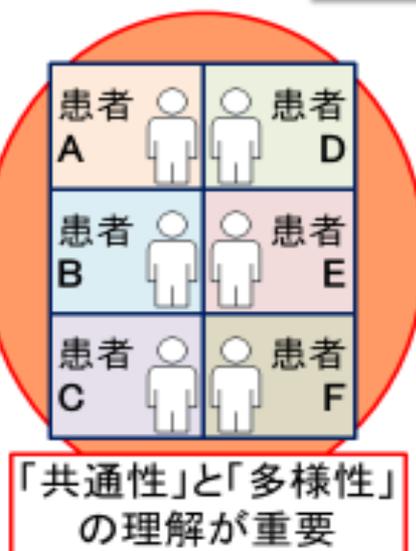
## AIホスピタルによる高度診断・治療システム

AI、IoT、ビッグデータ技術を用いた『AIホスピタルシステム』を開発・構築することにより、高度で先進的な医療サービスの提供と、病院における効率化(医師や看護師の抜本的負担の軽減)を実現し、社会実装する

### 情報社会 (Society 4.0)



### Society 5.0

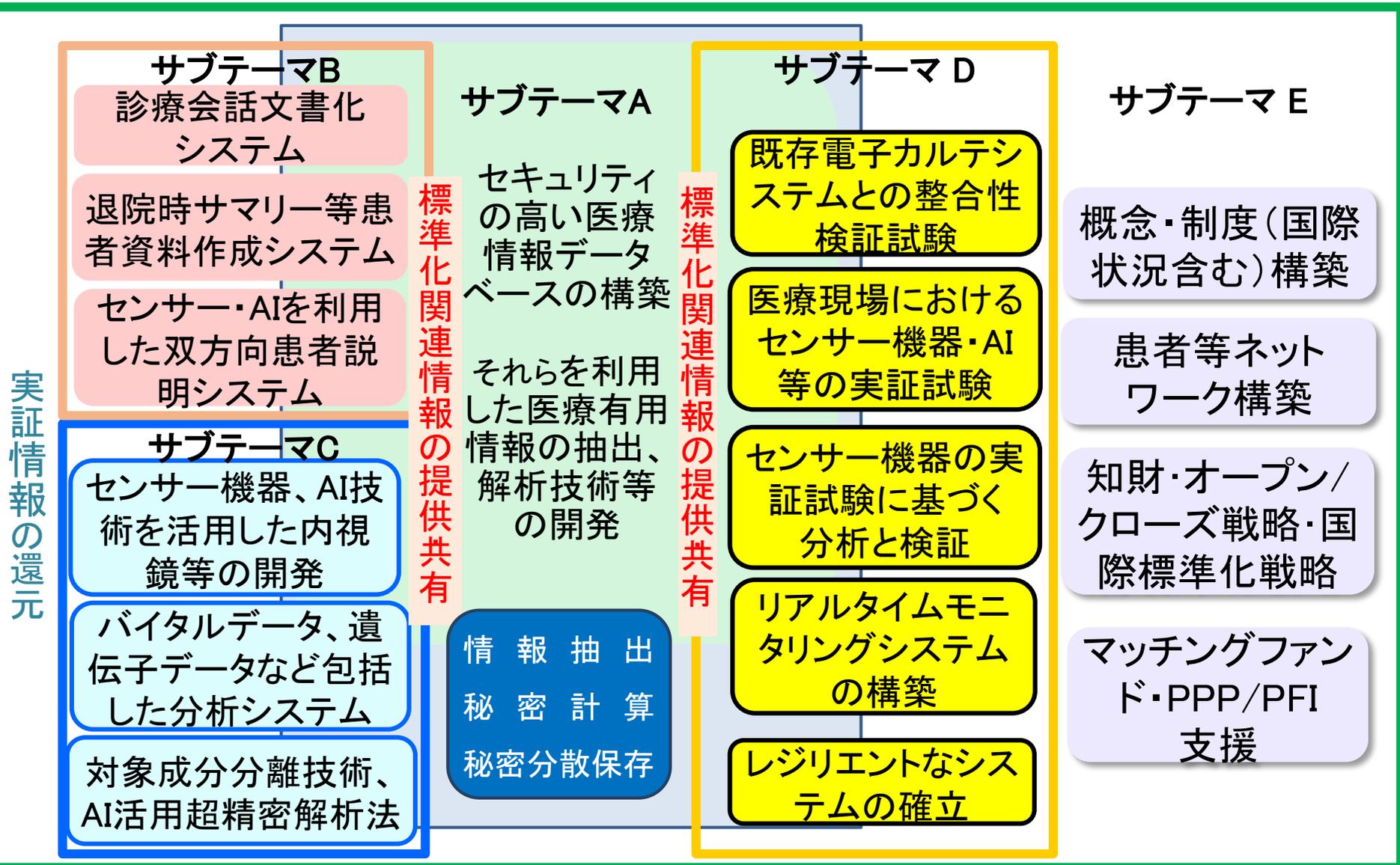


- ・超高齢化社会における医療の質の確保、医療費増加の抑制、医療分野での国際的競争力の向上という課題
- ・画像情報、病理診断情報、ウェアラブルな装置からの情報、ゲノム(遺伝子)情報を含む診療・投薬情報の効率的収集を通して、**ビッグデータベース構築、AI(人工知能)によるデータ解析の導入**が不可欠である。

同じ病気と診断されても  
患者間で多様な疾患背景  
患者間で多様な薬剤に対する反応  
個々の患者に合った個別化医療が必要

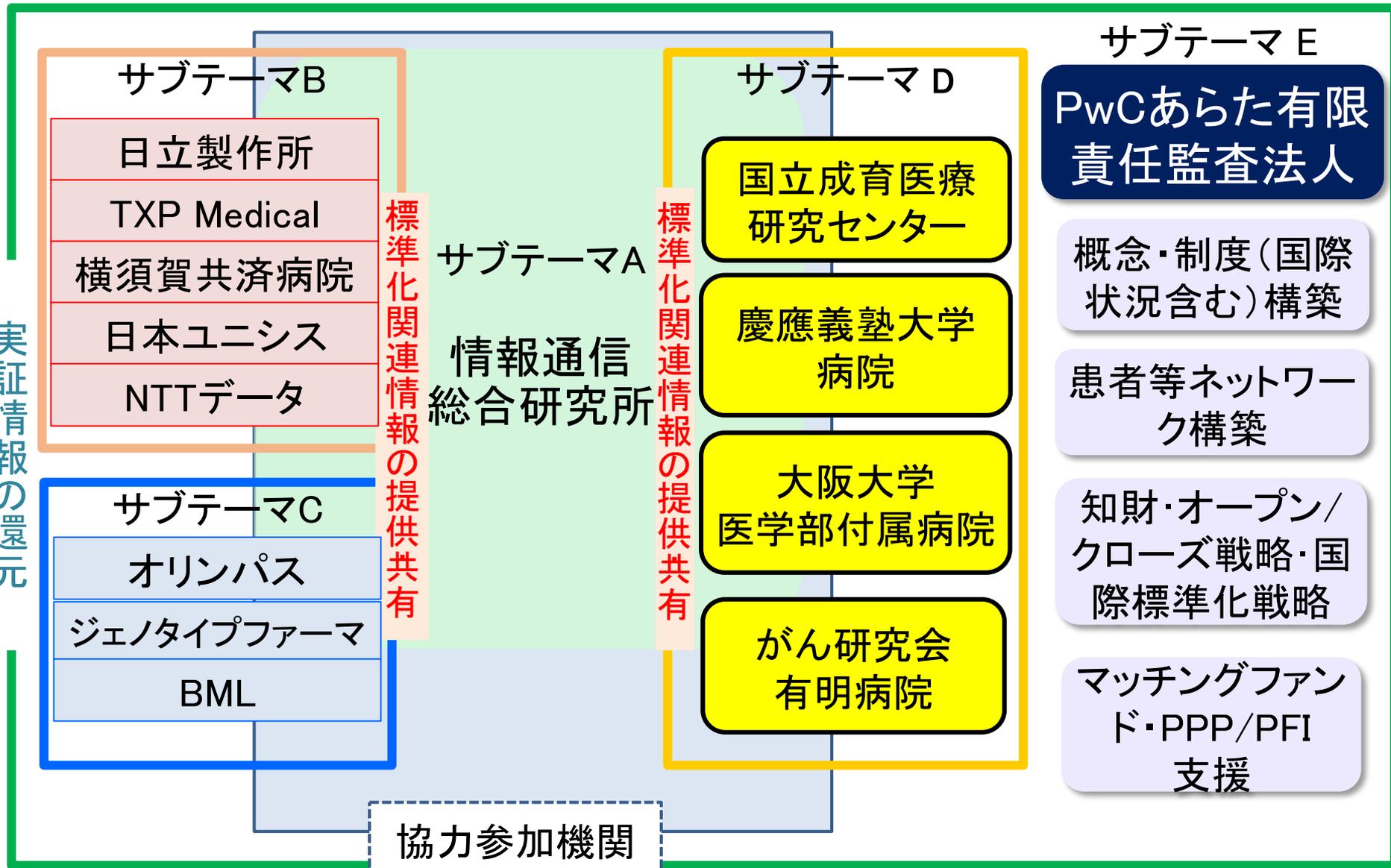
これらを通して、産業面での競争力強化、診断の高精度化、人的過失の防止、最適治療法の選択等を包括的、かつ、継ぎ目なく医療現場に提供し、Society 5.0の実現を図ることが可能となる。

# 研究グループ間の連携体制

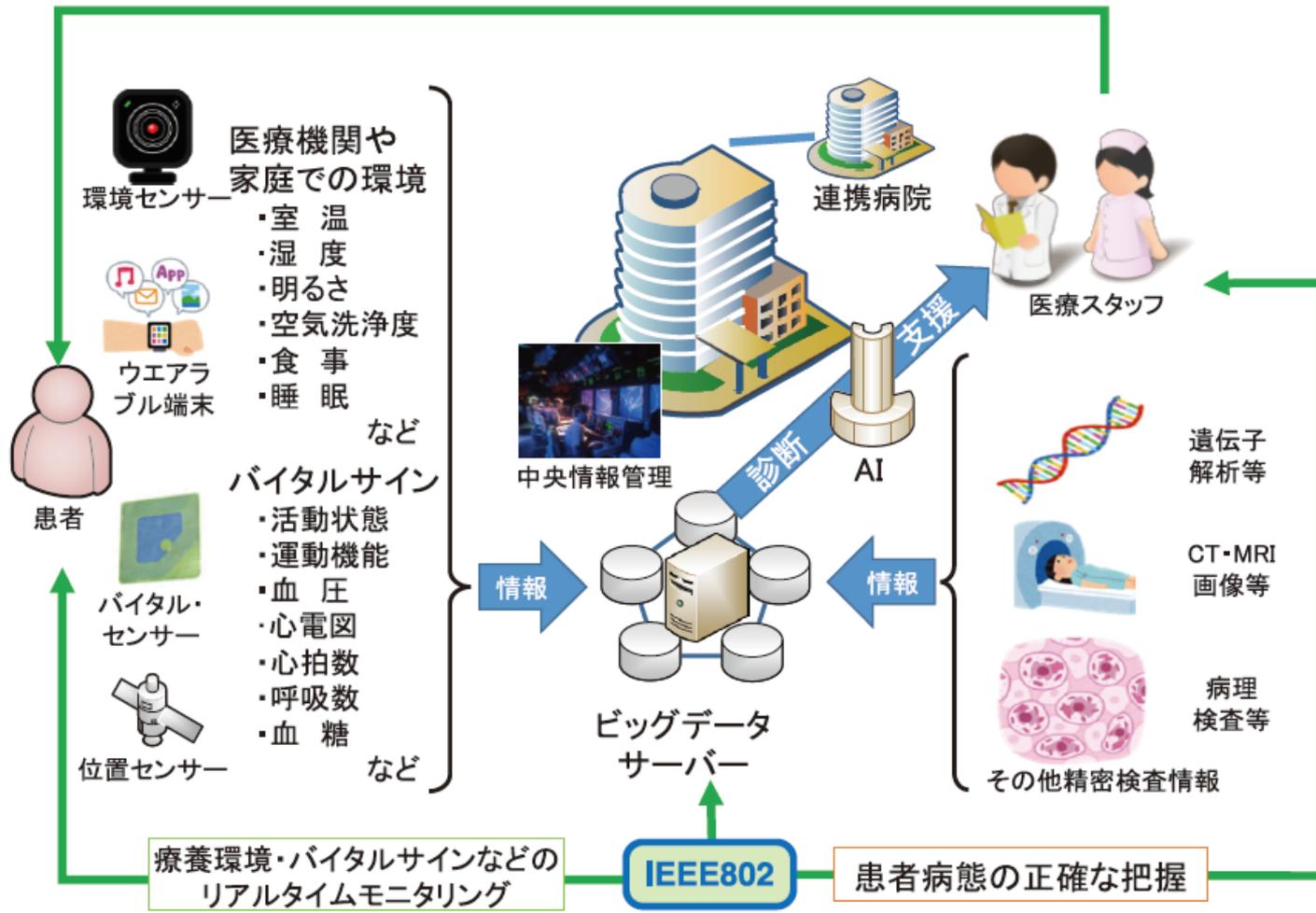


# 研究グループ間の連携体制

実証情報の還元



# 近未来のAIホスピタルシステム



**ゴール:**  
冷たく機械的な医療現場ではなく、  
心と心が通い合う医療現場



医療現場における人的ミスの回避  
(投薬ミス・患者や検体取り違い・  
検査画像の確認ミス)  
診察や検査待ち時間の最小化



十分な診療時間の確保を行いつつ、  
医療現場の負担軽減と  
患者の満足度を高めることの  
両立を図る

# 医療用AIプラットフォーム



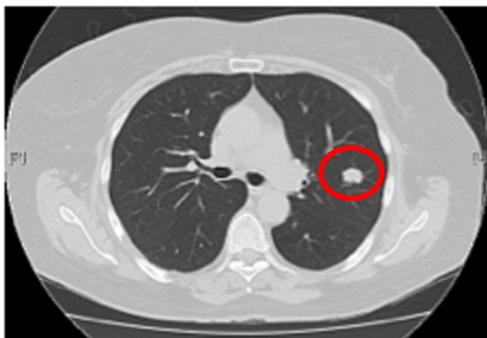
医療機関

クラウド上に置かれた  
医療用AIプラットフォーム

データを送る



AIによる診断  
肺腫瘍疑い



5G時代になれば  
数十秒単位での  
解析が可能

# 医療AI診断・治療支援システム(AIプラットフォーム)概要

